

全国信用保証協会連合会 様



一般社団法人
全国信用保証協会連合会
総務部システム管理課
長谷井 寛 氏

NIRVANA-Rでセキュリティインシデントの一元管理と トラフィックのリアルタイム可視化を実現！

課題

運用負荷の増大

全国信用保証協会連合会では、社内システムの全面刷新を機に、従前から対応を検討していた出口対策の強化と内部対策の実施を行った。内部対策については、自組織での継続的な運用が可能であることやコストバランスを考え、アズビルセキュリティフライデー社のVISUACT-Xを採用した。

同製品は不審な通信を検出する機能は優れていたものの、インシデントの検知は管理画面にのみ表示されるため、担当者が常時確認する必要があった。同様に、既に導入済みのセキュリティソリューションも、個々の管理画面やメールを確認する必要があり、インシデントの発生に気づくのが遅れる可能性があった。また、製品によっては参照するだけでも一定の知識が必要となることから、参照できる人が限られ担当者の運用負荷が課題であった。

ツールの選定理由

監視の一元管理と可視化

同連合会はシステムの運用・管理などを少人数で行うため、インシデントの可視化を進めており、監視ルームや大型の監視モニタの設置などを行ってきた。そこで、セキュリティインシデントも一元的に管理し、監視を行う担当者の負担軽減を図るとともに、インシデント発生から対応までの時間を短縮するため、NIRVANA-Rの導入を決定した。NIRVANA-Rの選定に当たっては、「メーカを問わず、あらゆるセキュリティ製品が検知したインシデントを一元的に管理し可視化することが可能であり、直感的で分かりやすい警告表示が行えるため、専門的な知識がなくてもインシデントの発生が確認できる。」ことや、「ネットワーク内を流れるデータの可視化も行えるため、通信の種類（ポート等）や流量から不正な通信の検知や予期せぬ通信の確認が行えるなど、既存の対策にない機能が有り、セキュリティ対策の強化も行える。」という機能面の他に、他社製品と連携について事前に動作検証を実施するなど、導入に向けたサポートも重要なポイントとなった。

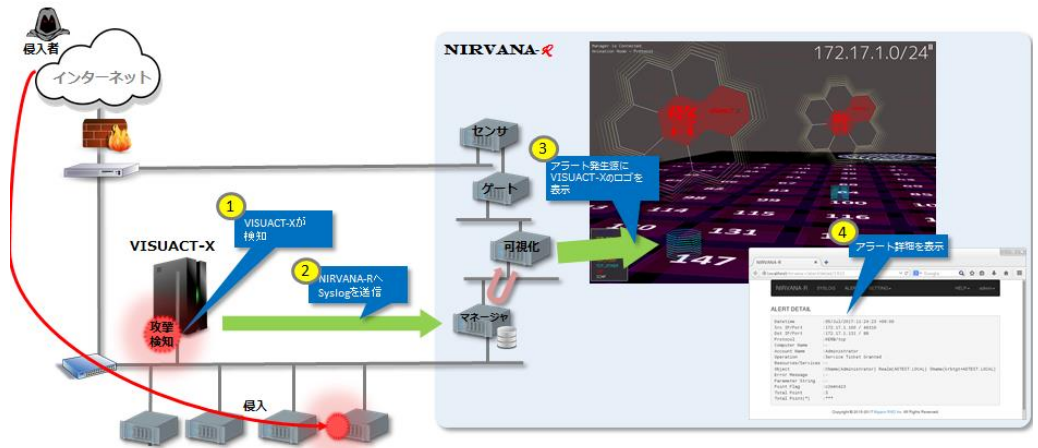


効果

設定ミスをいち早く発見

システム稼働後、ネットワークのリアルタイム可視化をしたことにより、想定していない通信が確認された。これは一部端末の設定変更漏れにより発生した通信であった。具体的には、今回のサーバリプレースとネットワーク設計変更により、リプレース対象外の機器はDNS情報を変更する必要があったが、一部端末でその変更が漏れていたため、想定外の通信が発生したものであった。NIRVANA-Rで可視化を行ったことにより、設定漏れに気づき該当端末を特定して対応することができた。

また、ネットワークトラフィックがわかりやすく可視化されるため、誰でも理解しやすく、システム担当者以外がセキュリティ対策について理解を深める手助けとなっている。



今後の展望

インシデント監視の集約

導入時においては、VISUACT-Xなどの一部ソリューションについてインシデントの警告表示を行ったが、その他のセキュリティソリューションについても順次設定を行い、セキュリティインシデント監視の集約を予定している。また、現在標準で実装されている論理マップ画面で視覚化を実施しているが、論理マップ画面ではセグメントが異なるIPアドレスについては同一画面での監視ができないため、より運用上使い勝手の良い独自の背景図を作成し異なるセグメントの監視を一元化していくことを予定している。

今後は、上記対応も含め、NIRVANA-Rをはじめとした各ソリューションをより有効に活用し、さらなる運用体制の最適化を目指して検討を進めていく。

□お客様プロフィール

全国信用保証協会連合会は、全国51の信用保証協会を会員とする組織で、信用保証業務改善のための調査・研究や中小企業金融に関する調査研究、各種研修等の企画・運営、機関誌やパンフレット等の企画・制作、及び信用保証協会団体信用生命保険制度の運営などの事業活動を行い、中小企業・小規模事業者等に対する金融の円滑化に資することを目的として事業を行っている。



□開発・販売元

日本ラッド株式会社
IoTソリューション事業部 IoTソリューション部
TEL 03-5574-7806
Mail nirvana@nippon-rad.co.jp

